

研究課題と実施課題の対応

| 基本方向の大柱 | 基本方向の中柱 | 研究課題 | 29年度小課題 | 担当部 | |
|-----------------------------|---|-----------------------|---|-------|-------|
| 東日本大震災及び原子力災害からの復興 | 放射性物質が海面漁業に与える影響 | 生態特性に応じた蓄積過程の解明 | 沿岸性底魚類の放射性セシウム濃度推移と分布 | 水産資源部 | |
| | | | 松川浦における放射性物質の移行、蓄積及び潜在的生物影響に関するモニタリング調査 | 相馬支場 | |
| | | 海洋生物への移行に関する調査・研究 | 放射性物質が海面漁業に与える影響（海水） | 漁場環境部 | |
| | | | 放射性物質が海面漁業に与える影響（海底土） | | |
| | | 水産物における放射性物質低減技術の開発 | カレイ類の放射性セシウム取込・排出過程の解明（放射性セシウム蓄積試験） | 種苗研究部 | |
| | | | カレイ類の放射性セシウム取込・排出過程の解明（放射性セシウム排出試験） | | |
| | | 加工処理による放射性物質低減技術の開発 | ヒトエグサの加工に伴う放射性セシウムの動態 | 相馬支場 | |
| 松川浦における放射性物質の移行・蓄積に関する研究 | 松川浦における放射性物質の移行、蓄積及び潜在的生物影響に関するモニタリング調査 | | | | |
| 安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得向上 | 安全・安心な農林水産物生産技術の確立 農林水産物の安定供給技術の確立 | 貝毒被害防止技術に関する研究 | 貝毒についての動向把握 | 漁場環境部 | |
| | | 栽培漁業対象種の放流技術に関する研究 | 木戸川における2017年度サケ回帰状況と2018年度回帰予測 | 栽培漁業部 | |
| | | | ホシガレイの放流技術に関する研究 | | |
| | | | ホシガレイの放流技術に関する研究（仔魚輸送技術） | | |
| | | | いわき地区で水揚げされたキタムラサキウニのGSIの年推移 | | |
| | | | 栽培漁業の再建に資する省力・低コスト生産技術の開発（ヒラメ光制御試験） | 種苗研究部 | |
| | | 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明 | 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（ヒラメソリネット調査） | 栽培漁業部 | |
| | | | 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（ヒラメ市場調査） | | |
| | | | 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（ヒラメサイズ規制の効果） | | |
| | | | 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明（ヒラメの移動生態） | | |
| | | | 震災後の沿岸トロール調査における魚種別分布密度 | | 水産資源部 |
| | | | 幼稚魚新規加入状況調査 | | |
| | | いわき丸トロール調査による底水温と重量密度 | | | |
| | マダラにおける震災前後の胃内容物 | | | | |
| | 福島県沿岸域におけるマアナゴ漁況の経年変化と底水温との関係 | 相馬支場 | | | |
| 底魚資源の管理手法に関する研究 | 底びき網の操業形態の把握 | 水産資源部 | | | |
| カレイ類資源管理手法の開発 | 底びき網試験操業からみた震災後の資源状況と漁場分布 | | | | |
| 浮魚類の持続的利用に関する研究 | 主要浮魚資源動向調査（カツオ・マグロ類） | 海洋漁業部 | | | |

研究課題と実施課題の対応

| 基本方向の大柱 | 基本方向の中柱 | 研究課題 | 29年度小課題 | 担当部 |
|--------------------------|-----------------------------------|--------------------|--|-------|
| | | 浮魚類の持続的利用に関する研究 | 主要浮魚資源動向調査（イワシ類、サバ類、アジ類等） 主要浮魚資源動向調査（サンマ） | 海洋漁業部 |
| | | 沿岸性浮魚の漁況予測技術の開発 | シラス漁況予測の手法開発 | 海洋漁業部 |
| | | 海況予測技術に関する研究 | 沿岸海況予測手法の開発 | 海洋漁業部 |
| | | 海洋基礎生産に関する研究 | コウナゴ漁況予測の検証 | 漁場環境部 |
| | | 松川浦の増養殖の安定化に関する研究 | アサリ資源増殖技術の開発 | 相馬支場 |
| | | | 松川浦における幼稚魚生息状況調査 | |
| | | | ヒトエグサの生育と環境に関する研究 | |
| | | 魚類の防疫に関する研究 | サケ増殖指導事業 | 栽培漁業部 |
| 県産水産物の付加価値向上 | 高鮮度化や加工による付加価値向上 | 漁場環境部 | | |
| 競争力と個性のある県産農林水産物のブランドの確立 | 優良種苗、改良家畜等の利活用技術の確立 | 水産生物の種苗性改善に関する研究 | ホシガレイ優良種苗生産技術の開発（2017年種苗生産実績） | 種苗研究部 |
| | | | ホシガレイ優良種苗生産技術の開発（ホシガレイ希釈海水飼育試験） | |
| | | | 地域重要種（ホシガレイ）の増養殖に関する低コスト生産体系の確立（中間育成試験） | |
| | | | 地域重要種（ホシガレイ）の増養殖に関する低コスト生産体系の確立（親魚養成試験） | |
| 自然・環境と共生する農林水産業の推進 | 環境負荷低減と農林水産業の持つ多面的機能を発揮させるための技術確立 | 漁場環境保全技術に関する研究（海面） | 試験操業におけるエゾアワビ漁獲物の特徴 | 栽培漁業部 |
| | | | 下神白漁場におけるエゾアワビの同一年級群内の雌雄間の成長差 | |
| | | | 下神白漁場におけるエゾアワビの震災前後の成長差 | |
| | | | 海岸に打ち上げられたアワビ貝殻の観察によるマダコ食害実態調査 | |

注)大柱、中柱は、平成25年3月策定の「福島県農林水産業の試験研究推進方針(平成25～32年度)」のⅢ試験研究の基本方向に示された研究分野

注)研究課題名は、「福島県農林水産業の試験研究推進方針」策定調整会議(H24. 12. 27)の資料「試験研究課題一覧」の大柱、中柱ごとの課題名